

令和7年度桑木地区外森林環境保全整備事業(保育間伐活用型外)【R7補正翌債・強靱化】
桑木国有林553㌖林小班外

保育間伐
(活用型)
(1伐3残)

保育間伐
(存置型)

単位工程別内訳書

事業箇所	材種	単位工程	予定数量	備 考
568は外	立木	全 木 伐 倒	3,425 m ³	(立木材積) 存置型を含まない
	素材	プロセッサ造材	2,300 m ³	
		フォワーダ集運材	2,300 m ³	
		フォワーダ運材	1,670 m ³	御殿場第1・第2土場
		トラック運材 山元巻立	430 m ³	深沢第1土場
		素材検知 (山元巻立の内、一般材)	1,190 m ³	木口表示・野帳記入 本数突合・白帯塗布
		素材検知 (山元巻立の内、低質材)	910 m ³	層積検知・野帳記入 白帯塗布

- (注) 1, 備考欄に指定中間検査場所を記入する。
 2, 単位工程の一部に特殊な作業を含むときはその作業名、予定数量等を説明する。
 (例) 剥皮・薬剤散布、軽油・薬剤等の支給など

完了検査場所内訳書

材 種	検査場所	完了予定数量	備 考
一般材	御殿場第1・第2土場 深沢第1土場	1,190 m ³	
低質材	〃	910 m ³	
一般材	原木市場	200 m ³	委託販売用一般材

事業条件調書

事業名:令和7年度桑木地区外森林環境保全整備事業(保育間伐活用型外)【R7補正翌債・強靱化】

静岡森林管理署

物件 番号 (単位)	林小班	伐採 種	伐採 率	(区域 面積) 実行 面積 ha	樹種	林齢 年	立木(資材)					生産量(素材)		作業条件											備考
							本数 本	材積 m³	平均 胸高 cm	平均 樹高 m	平均 単木 材積 m³	生産量 m³	利用率 (歩止り) %	事業地					伐倒 方法	集材方法		完了地点別内訳			
														林地 傾斜	作業 難易	ヒノキ 枝払 難易度	通勤距 離 車・片道 km	集材方法		平 均 集運材 距 離 m	山元 m³	最終 m³	合計 m³		
1	568は	間伐	29%	4.46	ヒノキ	57	2,155	691.79	24	14	0.32	480	69	31	中	中	10.0	列状	フォワーダ	184	430	50	480	列状 1伐3残	
	553は	間伐	27%	4.78	ヒノキ	51	1,584	669.12	28	14	0.42	470	70	27	中	中	9.2	列状	フォワーダ	994	420	50	470		
	553ろ	間伐	28%	0.88	ヒノキ	58	291	175.21	30	18	0.60	120	68	22	中	中	7.7	列状	フォワーダ	180	110	10	120		
	553ろ	間伐	35%	3.33	スギ	58	1,281	1,889.22	42	24	1.47	1230	65	22	中	中	7.7	列状	フォワーダ	180	1140	90	1,230		
	553い2	間伐	34%	3.35	ヒノキ	49	1,468	493.73	24	14	0.34			22	中		9.2	定性						定性 存置型 林内整理	
	553い3	間伐	34%	3.18	ヒノキ	38	2,916	366.17	14	11	0.13			27	中		9.2	定性							
	553い4	間伐	34%	4.53	ヒノキ	35	4,143	521.55	14	12	0.13			27	中		7.7	定性							
合計				24.51			13,838	4,806.79			0.35	2,300									2,100	200	2,300		

※1 予定価格算出基礎の一部を示すものであり、技術提案の内容によっては、本条件調書と合わない場合がある。

※2 本条件調書の内容と現地が一致しない場合は現地を優先する。

※3 生産量合計は、四捨五入の関係で資材内訳等とは一致しない。